

墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会
会 議 録

<p>会議名 第 1 回 教育部会</p>
<p>日 時 平成 2 9 年 1 1 月 1 5 日 (水) 1 8 時 4 0 分 ~ 1 9 時 3 0 分</p>
<p>会 場 すみだりバーサイドホール イベントホール</p>
<p>会議の概要</p> <p>1 自己紹介</p> <p>2 運営方法 部会長は部会の運営を行い、幹事は部会長を補佐する。 部会の協議内容等により、関連する区の管理職と職員が部会に出席する。 部会の開催頻度は、協議内容等により適宜開催する。</p> <p>3 役員の選任 部会長に、墨田区立中学校長会の西村均会長が選任された。 副部会長に、墨田区立小学校長会の水谷光一会長と、墨田区青少年育成委員会連絡協議会の田口武司会長が選任された。</p> <p>4 意見交換 部会の目指す方向性や検討テーマについては、資料 6 の提案どおりとする。 資料 6 の検討事項について、次のような意見や報告がされた。</p> <p>(1) 体力向上・オリパラ教育の推進について</p> <p>ア 小・中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都の教育委員会の指針に沿って、既に取り組を進めている。 ・オリンピック・パラリンピアンを招いた講演会等では、招いて終わりという一過性のものとししない工夫が必要。 ・カリキュラムマネジメント（夏休み・冬休みに教員同士が話し合う。） ・都の夢・未来プロジェクトを実施（バレーの松下選手が来た。） <p>イ 高校、専門学校等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動で体力向上に努めている。 ・部活動に加入していない生徒の体力向上が課題。 ・吹奏楽がオリパラ関連のイベントに協力した。 ・卒業生がリオオリンピックに柔道のパキスタン代表として出場した。 ・現在実績はないが、今後協力できることがあればしたい。 <p>(2) 心のバリアフリーに関する理解を深める指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳の山田選手が 3 年連続で来てくれ、一緒に水泳をしたりした。 ・ボッチャの選手や、ブラインドサッカーの選手とも交流が出てきた。

講演会だけではなく、パラスポーツの体験や考えをまとめるなどの取組も必要。

- ・区内全小学校で特別支援学級を設置する。

(3) 国際的な視野に立った考えを身に付けるための指導について

- ・幼稚園では、様々な外国語を使った遊びを取り入れている。
- ・中学生海外派遣 東京2020大会に積極的にかかわることを要件としている。
- ・ジェットプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)によるネイティブとの交流
- ・食育に関連して、外国人を招いて、和食の良さなどを英語で伝えた。

外国文化を理解・尊重するためには、日本のことを知ることも大切。

- ・地域の方と触れ合うことも重要。
- ・青少年委員協議会でスポーツゴミ拾いを実施、中学生100人以上集まった。
- ・ボランティア等で外国人と関わる機会を与えてはどうか。

英語のできる学生たちは、自らまちに出て外国人を案内できる。

その契機付けやおもてなしの心の醸成が必要では。

- ・各学校で国が割り振られ、その国の踊りや言葉を学んでいる。

(4) その他

- ・大会ガイドブックを各学校に配布したらどうか。

部数に限りがあるため対応を検討する。ホームページには掲載されている。

- ・各学校に、イベント等のポスターを掲示したら、生徒や保護者の目に留まる。
引き続き、速やかなポスターの配布等に努める。

- ・地域と学校が連携して取組をできたらよい。

現在は、公開授業等があるが、今後、できることがあれば良いと考えている。

- ・他の部会とも連携して活動ができたら良い。
- ・随時の情報共有が必要。
- ・特別支援学校も教育部会に追加されたい。

確認の上、調整する。

5 次回の開催について

第2回総会と同時

既に取組を行っており、現状では特段検討するテーマがないので、新たな検討事項等出てきた場合には、その都度調整する。